

アジア新人文化形成プロセスの総合的研究 パレオアジア文化史学

第2回
研究大会



THE 2ND CONFERENCE ON
CULTURAL HISTORY OF PALEOASIA

会場

名古屋大学博物館 (2/10)
名古屋大学野依記念学術交流館 (2/11-12)
〒464-8601 名古屋市千種区不老町



日時

2017年
2月10日(金) 13:00~14:30
▶一般講演会

2月11日(土) 10:30~17:45
▶国際ワークショップ International workshop

2月12日(日) 10:00~16:45
▶2016年度の成果発表

詳しくはホームページで <http://paleoasia.jp/>

定員
70名 (2/10)
150名 (2/11-12)
申込不要
参加無料

お問い合わせ：第2回研究大会実行委員会 名古屋大学博物館 門脇研究室 kadowaki@num.nagoya-u.ac.jp

主催：新学術領域研究「パレオアジア文化史学 アジア新人文化形成プロセスの総合的研究」総括班 <http://paleoasia.jp/> 名古屋大学博物館 <http://www.num.nagoya-u.ac.jp/>

プログラム

2月10日 (金) 13:00~14:30

会場：名古屋大学博物館

一般講演会 (通訳あり)

ドナルド・ヘンリー (タルサ大学人類学科・名誉教授)

「Rethinking Neanderthals

ネアンデルタールとはどのような人々か？その再考に迫る考古学研究」

2月11日 (土) 10:30~17:45

会場：名古屋大学野依記念学術交流館

国際ワークショップ (英語のみ) International workshop

『西アジアにおけるヒトと文化の交替劇 — パレオアジアからの展望』

Biological and cultural transitions in the Middle and Upper Palaeolithic in West Asia: Perspectives from PaleoAsia

① 趣旨説明 西秋良宏 (東京大学・教授)

② 招待講演 **ドナルド・ヘンリー Donald O. Henry** (タルサ大学人類学科・名誉教授)
「Neanderthals in the Levant: intra-site, inter-site and regional analyses」

パベル・タラソフ Pavel E. Tarasov (ベルリン自由大学地球科学科・教授)
「Late Quaternary vegetation and climate variability derived from sedimentary archives stored in Eurasian lakes: case studies, achievements and challenges」

ミリアム・ベルメイカー Miriam Belmaker (タルサ大学人類学科・助教授)
「Reevaluation of mammal community structure throughout the Last Glacial: implication for Neanderthal and anatomically modern human population dynamics in the Southern Levant」

③ パレオアジア・プロジェクトメンバーによる発表

2月12日 (日) 10:00~16:45

会場：名古屋大学野依記念学術交流館

パレオアジア・プロジェクト2016年の成果発表

計画
研究
班講
演

A01 アジアにおけるホモ・サピエンス定着プロセスの地理的編年的枠組み構築

A02 ホモ・サピエンスのアジア定着期における行動様式の解明

A03 アジアにおけるホモ・サピエンス定着期の気候変動と居住環境の解明

B01 人類集団の拡散と定着にともなう文化・行動変化の文化人類学的モデル構築

B02 人類集団の拡散と定着にともなう文化・行動変化の現象数理的モデル構築

